

城南家保ニュース Vol.30-7

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



岐阜県において豚コレラが発生しました

平成30年9月9日に岐阜県の養豚農場において、豚コレラの患畜が確認されました。国内での発生は平成4年以来、26年ぶりとなります。また、発生農場及び発生農場が使用していた共同堆肥場の周辺10km圏内で発見された野生いのししを検査した結果、10月3日現在、12頭で豚コレラ抗体陽性が確認されています。岐阜県以外の都道府県においても死亡した野生いのししの検査を実施していますが、陽性事例は確認されていません。

豚コレラは豚やいのししのみが感染する病気であり、強い伝染力と高い致死率が特徴です。畜産農家の皆様におかれましては、特に以下の点に留意していただき、引き続き、飼養衛生管理の徹底や早期摘発のための監視の強化に万全を期していただくようお願いいたします。

1. 衛生管理区域への病原体の持込み防止

農場への出入りの際には、人や車両（手指、長靴、荷台、ドアノブ、タイヤ、タイヤハウス、ペダル）の消毒を徹底してください。**塩素系消毒薬と消石灰が混ざると効果がなくなるので注意して下さい！**

2. 飼料の適切な加熱

肉製品を含む、又は含む可能性がある食品残さを豚に給与する場合は、適切な加熱（70℃・30分以上又は80℃・3分以上）を行ってください。

3. 異常発見時の早期通報

死亡頭数、異状産の増加や発熱、食欲不振、結膜炎（目やに）、便秘・下痢、歩行困難等の症状が増えた場合は、速やかに家畜保健衛生所へ通報してください。

畜舎に棲み着いたネズミを退治しましょう！



皆さんの農場でネズミを見かけたことはありませんか？畜舎に棲み着いたネズミは、飼料の損失、施設の損壊・汚損、咬害による停電や火災等の原因になります。さらに、**サルモネラ属菌や高病原性鳥インフルエンザウイルス等の病原体も媒介する**ため、ネズミの駆除は家畜衛生上、非常に重要です。大切な家畜を守るため、ネズミ駆除に取り組んでみましょう！

ネズミ駆除のポイント

1. 侵入防止

防鼠パテや金網（網目が1cm以下のもの）を使い、壁の穴や隙間を塞ぎます。

2. 餌を与えない

飼槽からこぼれた飼料は早めに除去します。また、飼料をポリバケツに移し替えフタをして保存することで、ネズミが飼料を荒らすのを防ぐことができます。



3. 清掃・整理整頓の徹底

巢の材料となるビニール・紙類・コンテナ・段ボール等を片付けます。



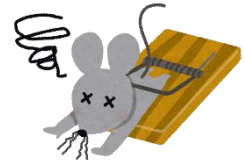
殺鼠剤の種類

1. 急性毒

主に「リン化亜鉛」という成分が含まれており、摂取してから短時間でネズミが死亡します。即効性がありますが、ネズミは警戒心が強く、見慣れないものをすぐに大量には食べないので、いきなり急性毒殺鼠剤を設置しても、十分な駆除効果が得られないことがあります。そのため、使用前に**専用無毒餌**（殺鼠剤から薬品成分を除去したもので、見た目や味は変わらない）で餌慣らしを行います。**設置した専用無毒餌は1週間毎に新しいものに取り替え、設置した無毒餌の8割程度をネズミが食べるようになってから、急性毒殺鼠剤に切り替えます。**

2. 慢性毒

薬品成分として「ワルファリン」または「プロマジオロン」等が含まれています。1週間～10日ほどかけて徐々にネズミが衰弱するため、一度に大量のネズミを駆除するには不向きですが、急性毒と比較してネズミに警戒されにくい殺鼠剤です。



殺鼠剤の使用法

急性毒と慢性毒を組み合わせ、以下の手順で使用すると効果的です。

1. 糞、壁や配管のかじり痕、ネズミが身体をこすりつけた痕（汚れや油によって黒光りしている）を目安に、ネズミの移動経路を特定する
 2. ネズミの移動経路上の隙間・物陰・壁際または天井裏に、急性毒の専用無毒餌を設置し、餌慣らしを約1ヶ月間実施する
 3. 急性毒に切り替え、生息数を一気に減らす
 4. 1ヶ月に一度、慢性毒を使用して生息数を少なく保つ
- ※ ネズミの餌となる飼料がない状態（オールアウト後等）では、餌慣らしをせずに初めから急性毒を使用
- ※ ネズミが安心して餌を食べるような場所がない場合は、塩ビ管や板等で物陰を作るとよい

ネズミ駆除には時間がかかりますが、根気強く取り組むことでネズミの数を減らすことができます。この機会にぜひ、ネズミ対策に取りかかってみましょう！

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(2件)	家禽	平成30年9月3日～9月16日
		中国(18件)	豚	平成30年8月17日～9月28日
アフリカ豚コレラ		ロシア	野生いのしし	平成30年9月10日
		ウクライナ	豚	平成30年9月15日
				平成30年10月1日時点

編集後記 (Y.H)

最近、ハーブを育て始めました。「レモンバーム」という、見た目はミントですが、レモンのような爽やかな香りのハーブです。ハーブティをいれたり、お風呂に葉を浮かべてみたり等々、やってみたいことは色々あるのですが、育て始めてからまだ1ヶ月も経っていないため、まだまだ葉が足りません。初心者にも育てやすいとのことですが、葉をひとつかみ収穫できるのはいつになるやら…